

### 町民一人あたりに使われたお金

民生費 96,485円	総務費 43,703円	教育費 32,493円	土木費 30,203円	衛生費 29,596円
公債費 21,327円	消防費 18,691円	議会費 5,810円	その他 7,650円	計 285,958円

※ その他は、農林水産業費・商工費・諸支出金・災害復旧費  
 ※ 人口は平成28年3月31日現在 住民基本台帳人口17,075人で換算

- ※1 実質赤字比率  
一般会計等（開成町の場合は、給食事業特別会計含む）の実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- ※2 連結実質赤字比率  
全会計を合算し全体としての実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- ※3 実質公債費比率  
一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- ※4 将来負担比率  
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

**用語解説**  
 平成27年度決算における町の各指標は、すべての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、資金不足比率）において「表一」と「表二」からわかるように早期健全化基準及び経営健全化基準を十分にクリアしています。  
 平成28年度以降も各指標の比率を維持しながら財政運営をしていく必要があります。

## 財政の健全化判断比率及び資金不足比率

■健全化判断比率【表1】

(単位：%)

財政指標	開成町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 ※1	—	15.0	20.0
連結実質赤字比率 ※2	—	20.0	40.0
実質公債費比率 ※3	10.2 (平成26年度・11.3)	25.0	35.0
将来負担比率 ※4	67.3 (平成26年度・76.1)	350.0	

※ 実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」で表示

■公営企業の資金不足比率【表2】

(単位：%)

特別会計の名称	⑤資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.0
水道事業会計	—	

※ 資金不足比率が算定されない場合は「—」で表示



## 平成27年度の主要事業

### 農林水産業費

上延沢農道舗装工事 471万円  
あじさい植替等工事 319万円



植え替えたあじさいの里内のあじさい

### 総務費

・公共施設等総合管理計画策定業務委託 206万円  
・共用車（ワゴン車）購入費 287万円

### 民生費

地域福祉計画策定業務委託 117万円



### 衛生費

グリーンリサイクルセンター  
施設等購入 7,818万円

### 消防費

防災行政無線（固定局）屋外子局  
整備工事 158万円



### 商工費

あしがり郷拠点整備基本設計策定  
業務委託 130万円



### 土木費

・町道122号線舗装補修工事 770万円  
・町道227号線舗装補修・路肩カラー舗装工事 1,067万円  
・開成駅東口ロータリー改修工事 2,411万円  
・源治橋架替工事（第1期） 2,234万円



町道122号線



改修した駅東口ロータリー

### 教育費

・開成小学校、文命中学校太陽光発電設備設置工事 4,193万円  
・開成水辺スポーツ公園管理棟屋根塗装工事 215万円



開成小学校の太陽光発電設備



文命中学校の太陽光発電設備